

令和4年度佐賀県小学校学習状況調査の結果について

学力向上コーディネーター

1 結果

(1) 4年

	国語	算数
本校正答率	69.1	58.3
県正答率	65.0	52.0
到達基準 ※	60.0	54.7

(2) 5年

	国語	算数
本校正答率	70.9	59.5
県正答率	65.4	50.1
到達基準 ※	60.0	52.7

(3) 6年

	国語	社会	算数	理科
本校正答率	67.8	61.0	52.0	68.4
県正答率	69.6	62.0	53.8	63.5
到達基準 ※	58.9	56.7	51.3	61.1

※到達基準とは、県が定めた「最低限これを上回ることが必要であると判断される値」です。

2 分析

全ての学年、教科において到達基準を達成できています。また、多くの学年、教科において、県正答率を上回ることができています。加えて、無回答率が低かったことも特徴として挙げられます。

4年生は、顕著な課題は見られず、国語科の「読むこと」や算数科の「データの活用」などが、県の正答率を大きく上回っていました。

5年生も、顕著な課題は見られず、国語科の「話すこと・聞くこと」や算数科の「測定・変化と関係」などが、県の正答率を大きく上回っていました。

6年生は、国語科の「読むこと」にやや課題が見られましたが、理科の「生命・地球」などは、県の正答率を上回っていました。

校内研究で取り組んできた「仲間とつながる対話活動の工夫」により、児童が対話を通して自分の考えを広げられるようになったことが、学力の向上につながったと考えます。

3 今後の取組

- 今年度取り組んだ対話活動の工夫をベースとしながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた授業改善を行います。
- 家庭学習習慣の定着に向けて、児童が自ら学んでいく姿勢が身に付くような宿題の在り方について考えていきます。
- 生徒指導の充実を図り、児童が安心して学べる環境づくりに努めます。

